



2023年12月期 第2四半期決算 補足説明資料

証券コード：3968

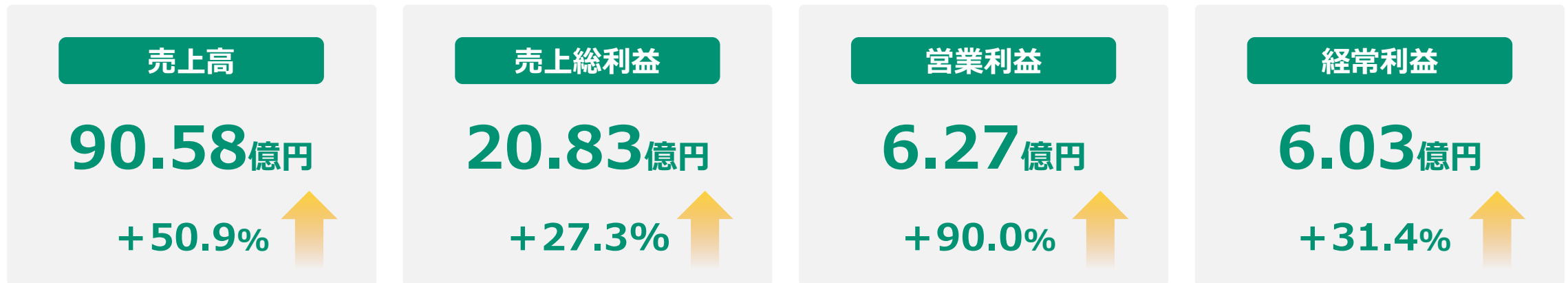
2023年8月9日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

ハイライト：業績

旺盛なデジタルトランスフォーメーション（DX）化への需要により、
ITインフラ製品販売およびサービスの受注が特に好調

納期遅延の解消も加わり、売上高、経常利益までの各利益で上半期過去最高を更新！

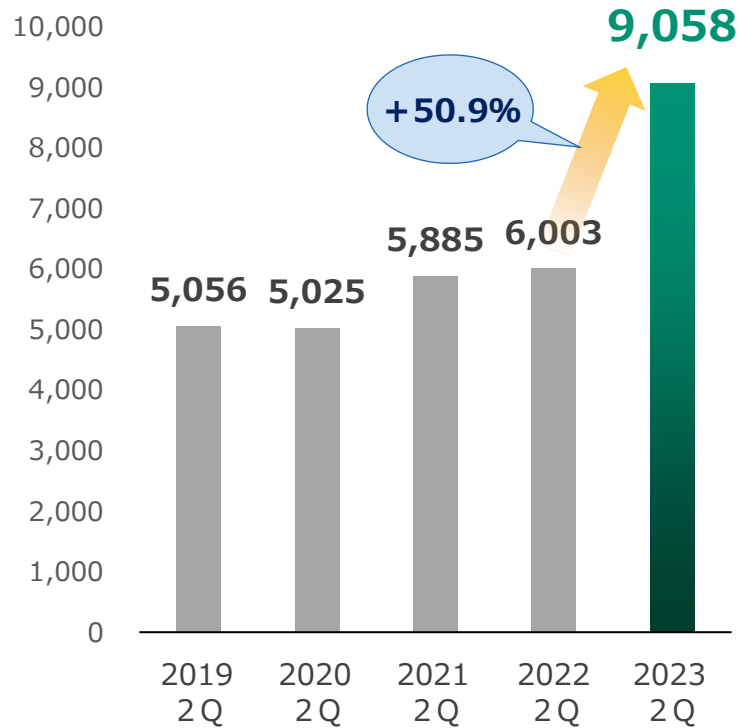


業績概要

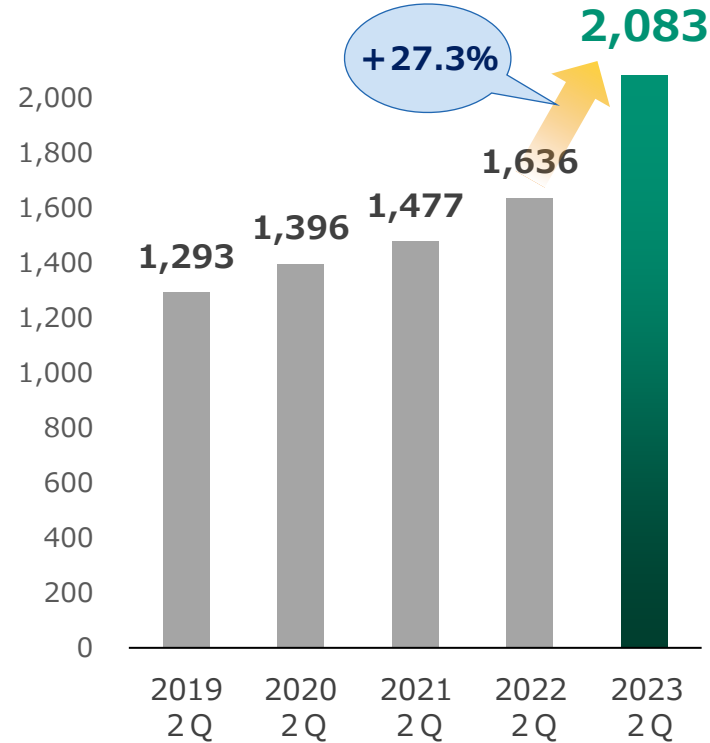
- 売上高：1Qに続き、プロダクト販売およびサービスの提供が好調。さらに半導体不足による納期遅延が回復傾向にあり、受注残高分の売上を計上
- 売上総利益・営業利益：売上高の大幅伸長により、売上総利益・営業利益も増大
- 経常利益：円安傾向により為替差損が発生するも、営業利益増により経常利益も増益。保有外貨建資産の評価により為替差益を計上した前期を大きく上回る

ハイライト：業績推移

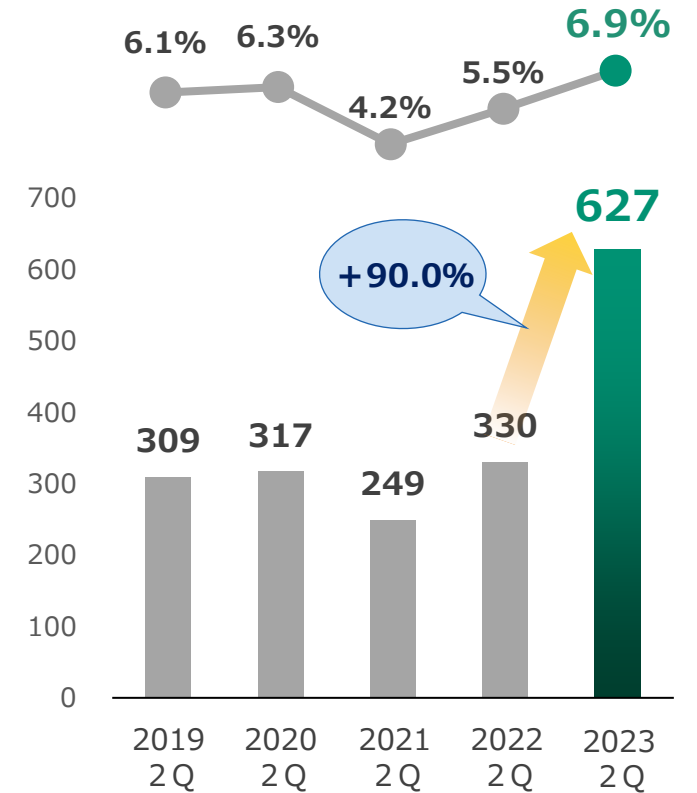
売上高 (百万円)



売上総利益 (百万円)

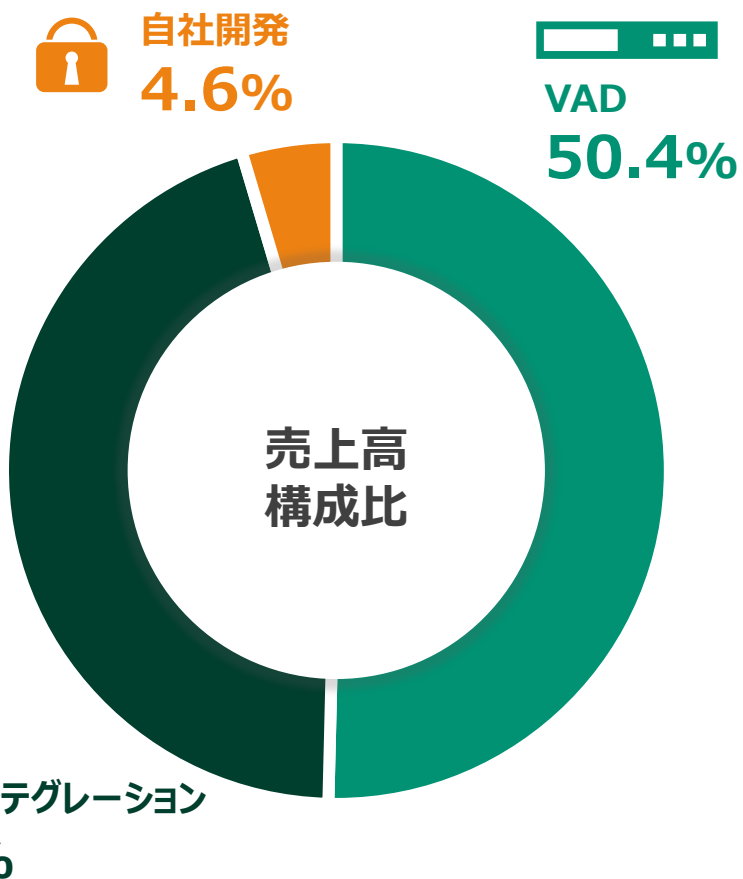


営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)



ハイライト：ビジネス別数値

VADは、受注残高分の納品が進み、売上高、売上総利益ともに大きく伸長
 システムインテグレーションは、DX需要によりインフラシステムの納入が好調
 自社開発は、自治体の需要ピークが過ぎ減収も、官公庁の大型案件を獲得



ビジネス	売上高	売上総利益
VAD	45.63億円 (+54.5%)	9.66億円 (+42.6%)

ビジネス	売上高	売上総利益
システムインテグレーション	40.77億円 (+56.9%)	8.00億円 (+23.0%)

ビジネス	売上高	売上総利益
自社開発	4.16億円 (▲7.7%)	3.17億円 (+2.9%)

ハイライト：ビジネスピックアップ

■ VADビジネス

- ✓ DX需要、納期改善によりITインフラ関連のプログラム売上が好調
Juniper製品の売上は、前年同期比で+133%
Ruckus製品の売上は、前年同期比で+57%
- ✓ 納期改善により、受注残高分の納品が進む。受注高は堅調に推移

■ システムインテグレーションビジネス

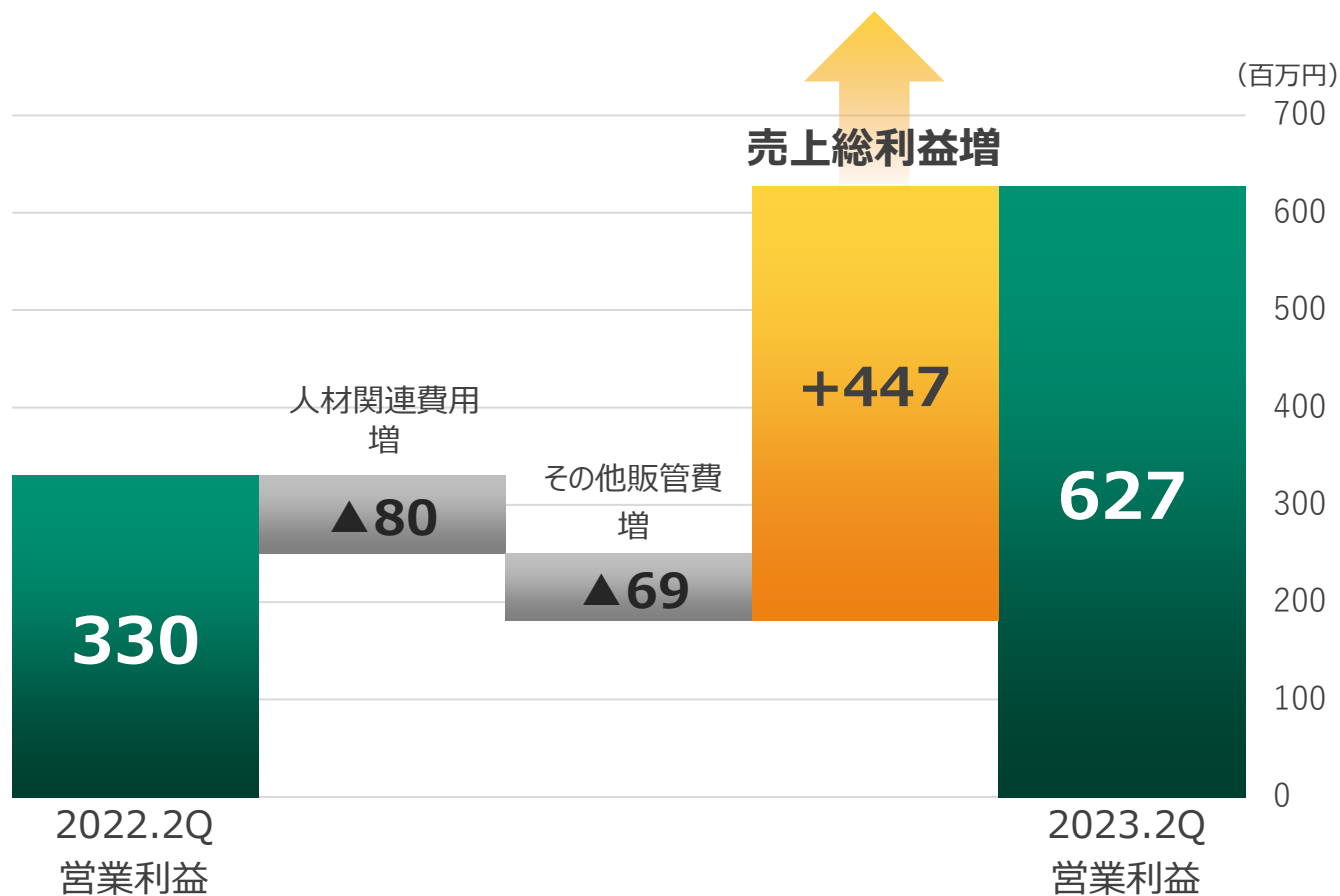
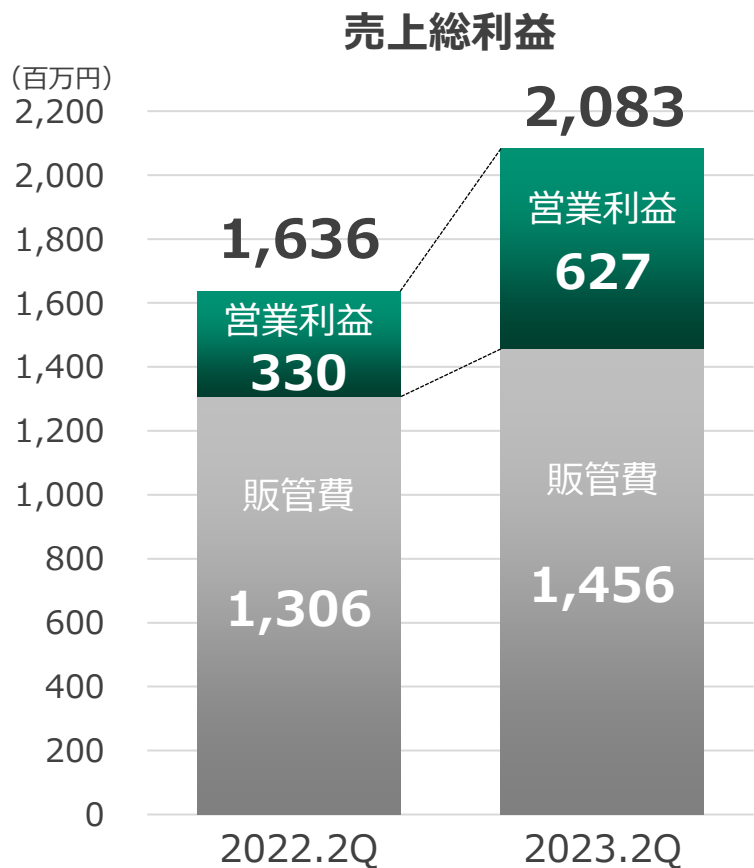
- ✓ 大型案件を獲得し、特にプログラムの売上が伸長
- ✓ ジェイズ・テクノロジー、各地にDXセンター開設
- ✓ タイISS Resolutionは、経営基盤強化を図るための人材確保を進める

■ 自社開発ビジネス

- ✓ 官公庁大型案件の獲得
- ✓ 自治体向け引き合いは堅調に推移
- ✓ セグエセキュリティは、当初計画から遅れがありつつも自社開発サービスの販売体制が整う

ハイライト：営業利益増減内訳

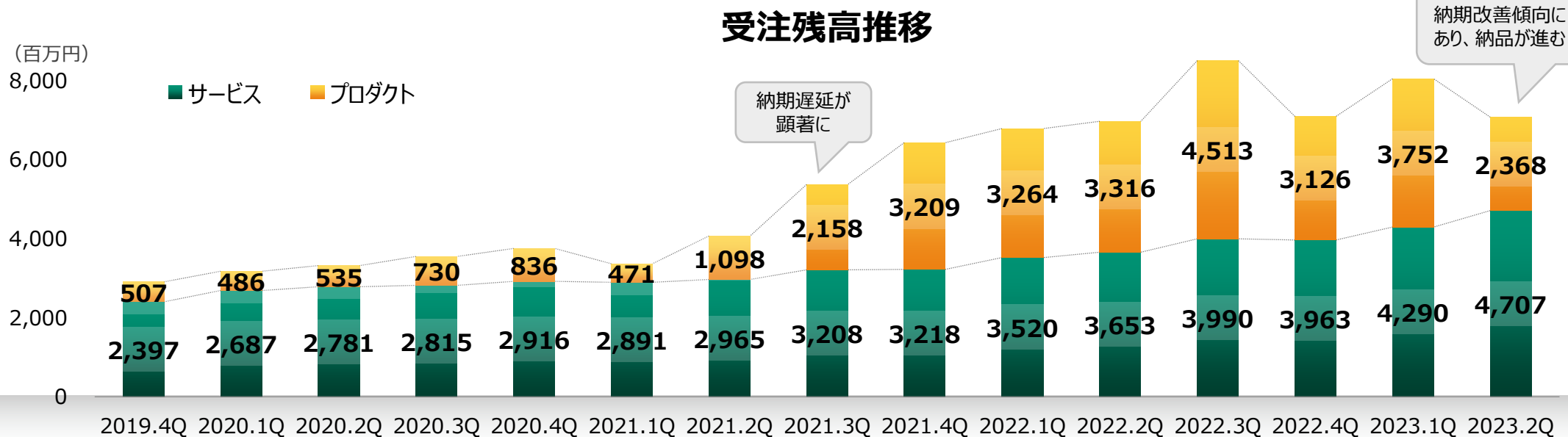
採用強化による人員の増加や、全社員へのインフレ支援金により、人材関連費用が増加も、売上総利益の大幅増益により営業利益も増益



ハイライト：受注の状況

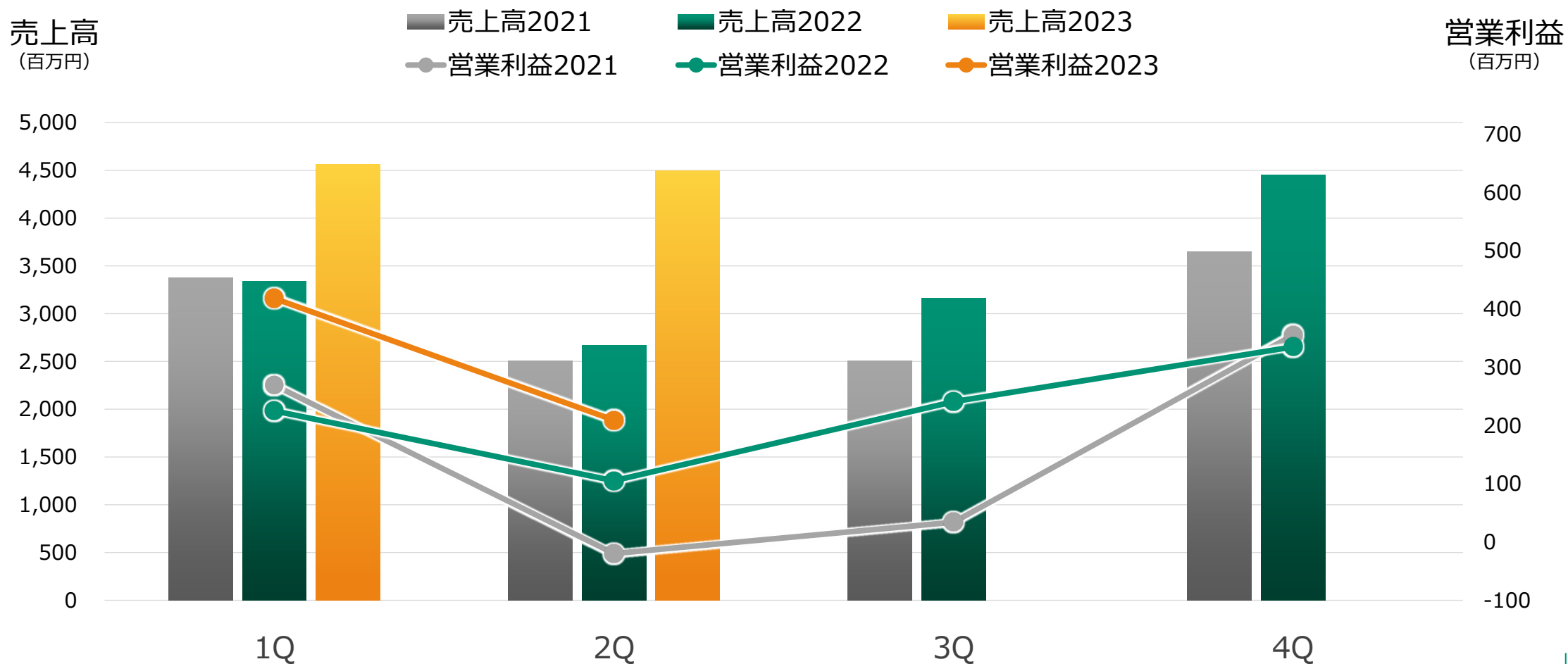
納期改善により、プロダクトの受注残高は納期遅延前の基準に向かう兆しみられる
 サービスは好調な受注により、受注残高が増加

	2022. 2Q 受注高	2023. 2Q 受注高	前年同期比 増減率	2022. 2Q 受注残高	2023.2Q 受注残高	前年同期比 増減率
プロダクト	1,603	1,638	+2.2%	3,316	2,368	▲28.6%
サービス	1,247	1,892	+51.7%	3,653	4,707	+28.9%
合計	2,850	3,530	+23.9%	6,970	7,076	+1.5%



ハイライト：四半期業績推移

第1四半期、第2四半期ともに四半期会計期間で過去最高を更新



ハイライト：連結損益計算書

通期計画に対し、上半期は好調な推移

下期は、RevoWorksクラウドバージョン開発、採用強化等投資の他、次期中計以降のさらなる発展に向け各種施策を検討しているため、通期計画は期初予想値を継続

単位：百万円

	2022.12 2Q	2023.12 2Q	前年同期比		通期計画	進捗率
			増減額	増減率		
売上高	6,003	9,058	+3,054	+50.9%	15,700	57.7%
売上総利益	1,636	2,083	+447	+27.3%		
(利益率)	27.3%	23.0%	▲4.3pt			
販売費及び 一般管理費	1,306	1,456	+150	+11.5%		
営業利益	330	627	+297	+90.0%	1,000	62.8%
(利益率)	5.5%	6.9%	+1.4pt		6.4%	
経常利益	458	603	+144	+31.4%	1,000	60.3%
(利益率)	7.6%	6.7%	▲1.0pt		6.4%	
純利益※	416	407	▲9	▲2.2%	679	60.0%

※親会社株主に帰属する当期純利益

※営業外費用に為替差損（24百万円）を計上

※前期は、営業外収益に為替差益（154百万円）、特別利益に有価証券売却益（174百万円）を計上

ハイライト：連結貸借対照表

ストック型サービスの受注高増加により、前受金が大幅に増加

単位：百万円

	2022.12 2Q	2022.12 期末	2023.12 2Q
流動資産	8,865	9,975	10,221
現金・預金	2,981	2,989	2,431
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	1,485	2,360	2,934
棚卸資産	2,522	3,103	2,942
その他	1,875	1,521	1,912
固定資産	1,261	1,276	1,488
有形固定資産	207	248	278
無形固定資産	136	258	255
投資その他資産	917	770	954
資産合計	10,127	11,252	11,709

	2022.12 2Q	2022.12 期末	2023.12 2Q
流動負債	4,038	6,367	6,677
買掛金	825	1,885	885
短期借入金等	5	287	790
前受金	2,531	3,137	3,941
その他	675	1,055	1,060
固定負債	307	1,200	1,107
負債合計	4,345	7,567	7,785
純資産合計	3,190	3,685	3,924
負債純資産合計	7,536	11,252	11,709

- ✓ 2023年12月期より、配当方針を変更※（2023年2月13日発表）
利益還元の姿勢をより明確にし、かつ充実させるため中間配当を開始
- ✓ 中間配当は、期初予想通り15円

※ 変更後の配当方針の適用は、2026年12月期までを目安として当面の間を予定しております。

2023.12月期	中間配当	期末配当 (予想)
1株あたり配当	15円	15円
配当性向	50.0%	

配当金の推移

	2018.12月期	2019.12月期	2020.12月期	2021.12月期	2022.12月期
1株あたり 年間配当	5円 (配当開始)	10円 (記念配当5円含む)	16円 (期初計画10円)	16円	18円 (期初計画16円)
配当性向	15.1%	27.9%	29.2%	40.0%	27.4%

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先

セグエグループ株式会社 経営管理部 IR担当

<https://segue-g.jp/ir/contact/>